

平成31年度 予算化要望項目

No	要望項目	要望理由	要望団体	回答内容	関係課(機関)
1	予算編成と執行について	<p>当協会における障害者福祉関係事業の推進については、県の様々なご指導、ご支援をいただく中で、その円滑、効果的な執行に努めているところである。</p> <p>また、今後の県事業の執行においても、それぞれの事業環境の変化等を踏まえながら最大の事業効果が得られるよう、お示しいただく予算の効果的、効率的な執行に努めて参りたいと考えている。</p> <p>については、来年度予算の編成作業においては、県財政当局への予算要求に当たり、各事業の現状分析、方針策定時などに、執行の実情や改善についてヒアリングの機会を設けていただくようお願いしたい。</p> <p>また、編成される予算の内容と考え方などについて、その内容を十分理解した上で遺漏なく執行できるよう、予算編成中や編成後可能な限り早期の説明等がいただけるようお願いする。</p>	山梨県障害者福祉協会	<p>平成31年度の当初予算に係る県財政課への要求にあたっては、貴協会事務局からのヒアリングの機会を設け、各事業の現状などをお聞きしながら、限られた予算の中で最大の事業効果が得られるよう、予算要求をいたしました。</p> <p>予算の内容とその考え方などについては、県議会の承認を得た後、可能な限り早期に説明して参ります。</p>	障害福祉課
2	地域活動事業費の充実について	<p>当該受託事業では、視覚障がい者が地域活動を行うに必要な様々な研修を行うことにより、地域に住む障がい者との触れ合いが生まれ、同じ悩みを持つ者として、励ましあい、助け合ってきた。</p> <p>研修は、社会参加をする上で欠かすことのできないマナー取得についてであったり、情報障害を補うためのIT研修会や安全な移動を確保するための歩行訓練、さらに、健康的な生活を送るための健康教室や料理研修会など、その必要性から非常に多岐にわたってきた。</p> <p>しかし近年、事業費は大きく削減され、一時の20分の1となっている。</p> <p>以前に比べ、福祉が向上したとはいえ、地域の障がい者が社会活動を営んでいく上で、まだまだ乗り越えなければならないバリアが存在することも事実であり、地域活動事業が果たしてきた役割を考えると、是非、事業費を増額されるよう要望する。</p>	山梨県視覚障がい者福祉協会	<p>当該事業は、在宅身体障害者の社会参加の促進を図ることを目的に、球技会や視覚障害者文化祭、各種教養を得るための講習会などを開催等する内容で、山梨県障害者福祉協会に委託しております。</p> <p>障害のある皆様の期待が大きい事業であることは承知しておりますが、一方で本県の財政状況は厳しく、事業費の増額は難しいことは御理解ください。</p> <p>なお、事業内容については、今後も引き続き、委託先である貴協会と相談しながら、効果的な事業となるように努めて参ります。</p>	障害福祉課